

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	6
事業名	コミュニティバス事業費	会計	款	項	目
		一般	2	1	12
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	政策課		
施策	9-3 公共交通網の維持・確保	係名	政策係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者が公共交通としてのオレンジバスを利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジバス3台による運行委託 ・地域公共交通会議による生活交通確保維持改善計画の策定と効果検証、ルート・ダイヤ等の検討、地域公共交通計画に基づく効果検証 ・バスロケーションシステムによる利便性の確保と利用者データの把握 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
1	オレンジバスの乗車人員	74,453			人	↑	↗	
2	新たな技術や移動手段などの取り組み事業数	0			事業	↑	1	
3	オレンジバスを普段利用している町民の割合	-			%	↑	7	
4								
5								
		令和2年度(決算)		令和3年度(決算)		令和4年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B				88,824	86,727	88,914		
財源内訳	直接事業費 A			81,564	79,467	81,384		
	うち一般財源			65,059	60,535	64,403		
人件費(千円) B				7,260	7,260	7,530		
内訳	一般職員(人・千円)	1.1	7260	1.1	7260	1.1	7260	
	臨時職員(人・千円)	0	0	0	0	0.15	270	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	地域公共交通計画を進めるとともに、新たな交通手段や手法の検討を進めていく。	③取組の課題	コロナ禍による利用者回帰への取り組み。
②R3年度に実施した取り組み	運賃改定を行うとともに、小児運賃、高齢者割引制度などを導入した。またデジタルサイネージの設置を行うべく企業との取りまとめを行った。	④今後の改善計画	より使いやすいバスとなるようルート、ダイヤの検討と、オレンジバスを補完する交通の検討。